

エコ・カレッジ通信は毎月(第3火曜日)定期開催される北海道 GPN エコ・カレッジカフェでの学生・企業の環境活動等の取組事例を紹介します。今回、第1号は第1回目(11月18日、会場アースカフェ・インザループ、参加者50人)の発表内容を掲載します。

北海道水環境ユース WACCA(学生)

「WACCA」とはアイヌ語で「水」の意味。命の源「水」を取り巻く環境について考えています。



主な取組・活動

動(フィールドワーク)

知識に溜まらない経験を身につけることを目指し、講師を招いて道内の水辺ヤモリ、ダムでフィールドワークを行っています。

考(ディスカッション)

一人ひとりが自分の興味のあるテーマを調べて、ディスカッションや勉強会を行うことで、主体的な取組を促しています。

結(ネットワーク)

「WACCA」という名前には、人と人をつなぐ「わかか」のような存在になりたいという思いが込められています。WACCAでは、人や団体のつながりを大切にすることで、様々な体験を得ることを可能にしています。

・釣りフィールドワーク(豊平川・真駒内川)

ニジマスが世界の外来種侵入ワースト100にも選ばれ、かつ北海道において被害も報告されているにもかかわらず、放流され続けている矛盾について考える、という目的でフィールドワークに出かけました。



・螢フィールドワーク(左股川緑地)

夏の風物詩であるホタルを見よう！ということでホタルフィールドワークを企画しました。左股川という全国でも数少ないホタルの自生地へ赴き、本当にホタルが住みやすい環境とはどのようなものなのか？ということを実地に赴くことで実際に体験しに行きました。



・北大ゴミ拾いツアー

新歓イベントの一環として北大構内をゴミ拾いをしながら歩いて回りました。新1年生が多数参加してくれたおかげで北大をきれいにすることができました。



・北海道ユース環境フォーラム「きっかけは水」

このフォーラムは、洞爺湖サミットに向けて環境に対する意識が高まっている北海道で、地元のユースが実際にアクションを起こし自分達で社会を変えていくという目的のもと行われました。具体的には、北海道の自然の中存在する環境問題を再確認するフィールドワークや今後のアクションプランを話し合うワークショップをメインに行われました。ワークショップでは『あなたの心にエコの灯を ~ エコキャンドル 2008 ~』フォーラム後のアクションとして決定しました。



連絡先: 札幌エルプラザ 2 階市民活動サポートセンター(毎週火曜日ミーティング)
(札幌市北8条西3丁目) E-mail: wacca.mizu@yahoo.co.jp URL: <http://ywjs.npgo.jp/>

World Hokkaido Bridge

World Hokkaido Bridge「WHB」とは札幌の若者が、北海道にエコキャップの輪を広げるために立ち上がった団体です。

主な取組・活動

エコキャップ活動

毎日のように触れるペットボトルのキャップ、実は優れたリサイクル素材です。

エコキャップ活動とは、ペットボトルキャップを回収し、リサイクルすることで得た収益で、世界中の子供たちにワクチンを送ることで。

ボトルキャップは400個で10円になります。世界の子供たちの届けるポリオワクチンは一人当たり20円、キャップ800個で一人の子供の命が救えます。



〈回収システム〉

WHB が交渉し許可を戴いた場所に設置した回収ボックスへキャップを入れてもらうもしくは個人的にキャップを集めていただく

WHB が回収に向かう！

(現在、人員不足により、回収へ向かうことができる場合とできない場合があります。ご了承ください。)

WHB が保管拠点にまとめる - その後 -

リサイクル業者さんが回収

資源代金と交換

NPO 法人「世界の子供にもワクチンを日本委員会」へ寄付

ワクチン購入・ミャンマーへ



【検討課題】

現在は最終的に業者を通じて中国へ輸出しています。今後中国の国内事情により引き取り先がなくなりそうです。

そこで、北海道内で何とか循環できないかを考え、ご協力くださる企業を探しています。

連絡先：E-mail：WHB.ecocap@gmail.com

URL：http://www.geocities.jp/world_hokkaido_bridge/

「食品レジ袋削減の取組」

環境・社会貢献部長 大野 芳高 氏

イオン温暖化防止宣言

2012年までにCO2排出量を総量で30%削減(2006年度比)します。



CO2 185 万トン削減の主な取組み

1. 店舗での設備・仕組による削減 50 万トン

- ・2008年7月3日(木) イオン苫小牧 SC が、北海道初の「エコストア」としてリニューアルオープン
- ・既存店のエコストア化はイオングループでも初
- ・省エネ技術を導入しなかった場合に比べ、CO2 排出量を 21%削減可能

エコストア3つのコンセプトと8つの視点

3つのコンセプト

- ・変革と技術革新(新技術を用いて積極的に経験を蓄積します。)
- ・学習と協働(子供たちが環境に関心を持つ働きかけ・地域コミュニティとの連携を強めます。)
- ・情報発信(イオンが実施してきた環境保全活動等を、わかりやすく体系的に発信します。)

8つの視点

省(創エネルギー)

その土地に最も適した風・太陽・水等の自然エネルギーを、積極的に利用します。

環境効率

環境負荷の小さい材料を使ってお店をつくれます。

自然環境

自然の光や音は水を取り入れる工夫をこらします。

景観・生物多様性

人だけでなく、たくさんの生き物が集まる空間を提供します。

安全・安心・環境配慮

環境に配慮した商品を、積極的に皆さまの元へお届けします。

廃棄物の地域循環

イオンから働きかけて、地域の皆さま(行政・NPO も含む)と共に廃棄物の地域での循環に取り組みます。

21世紀のコミュニティ

レジ袋のいらない(=資源のムダ使いをしない)お店を目指します。

情報発信

お店・イオン全体が取組む環境に関わる情報をわかりやすく皆さまにお伝えします。

2. 商品・物流における削減 57 万トン

～モーダルシフト～

- ・関東から北海道への物流センター間貨物輸送を、トラックから鉄道のコンテナ輸送に変更
- ・トラック輸送比 CO290%削減可能

3. お客さまとともに取り組む削減 31 万トン

～植樹活動～

- ・イオンふるさとの森づくり

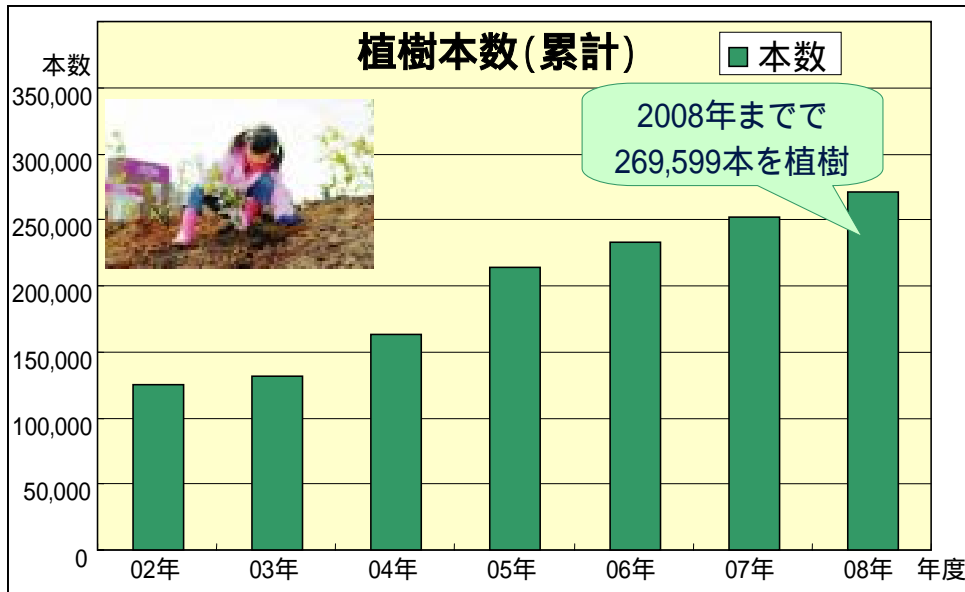
新店オープンの際、店舗が地域に根ざし、地域のコミュニティに成長すること、さらに緑を育む心が世界に広がることを願い、店舗の周りに植樹を行う

・(財)イオン環境財団

さまざまな国と地域で環境保全活動を実施

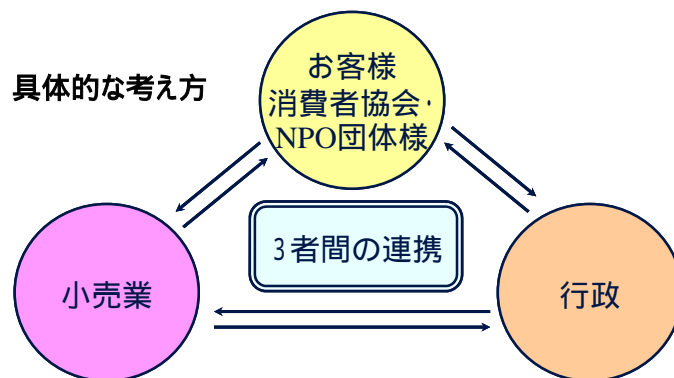
(北海道では知床植樹、支笏湖植樹等中国や東南アジア等でも植樹を実施)

【植樹活動～イオン北海道の累計植樹本数】



～ レジ袋削減の取組み～

・イオン北海道の目標は2010年までに買物袋持参率50%



・レジ袋削減の取組み

～ マイバッグを持っていたく～

食品レジ前、鞆売場、家庭用品売場でそれぞれ展開していたマイバッグを集約し、食品レジ前で大きく展開



・レジ袋削減の取組み

～ マイバッグを使っていたく～

まずはイオン北海道従業員の買物袋持参率100%を目指す
バックルームにマイバッグステーション(従業員貸出用マイバッグ)の設置

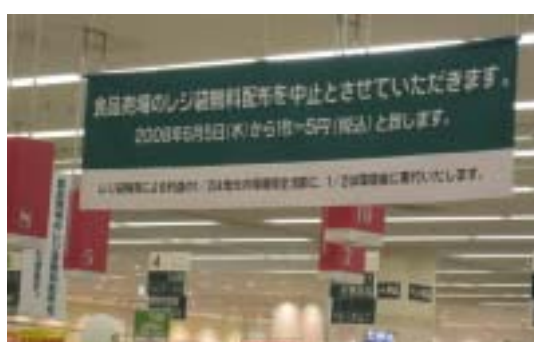
更に、お客様へ直接呼びかける
店内放送、ハンドピラ、チラシ等



- ・レジ袋削減の取組み
- ～ 食品レジ袋の無料配布中止～
- 自治体の主導により実施 協定の締結



レジ袋削減等に向けた取組みに関する協定式 9月3日 札幌市にて



レジ袋収益金の使途

有料レジ袋: 1枚5円にて販売

- ・収益金のうち半額は、地方自治体、地域の市民団体等の組織に環境保全活動や地域貢献活動などの活動資金として寄付
- ・残り半額は、当社がCO2排出権を購入し、環境省へ無償譲渡
- ・レジ袋収益金は、毎年2月21日から翌年2月20日を年間実績とする

4. 京都メカニズム活用 47万トン

今後の取組み

さっぽろまちづくりパートナー協定

札幌市の一層の発展と飛躍を目指し、共にまちづくりに取り組むパートナーとして協定を締結

- ・地域とともに環境行動を実践するまちづくり
- ・災害に強い、安心・安全なまちづくり
- ・ボランティアなど市民の主体的な活動を応援するまちづくり
- ・障がい者の自立支援を通じた、ぬくもりあふれる共生のまちづくり

安全・安心どさんこ運動

「犯罪のない安全で安心な地域」をつくるため、「人・地域・社会の絆」を深め、道民が心豊かに安全で安心して暮らすことのできる北海道を築いていくための運動に参画

- ・「あいさつ・みまもり・たすけあい運動」への参加
- ・自治体とコミュニケーションをとり、安全啓発活動の実施 等

連絡先: イオン北海道株式会社

環境・社会貢献部

TEL . 011-865-9111 FAX . 011-865-4131

URL : <http://www.aeon-hokkaido.jp/contribution.html>

次回開催

北海道GPNエコカレッジカフェ第2回

12月16日(火)18:30～

発表予定者

「eko eko Rueuse」学生団体

「事業所から紙ごみは出さない」イメージワーク(株)

「天然ガスが北海道を救う」北海道ガス(株)

会場:アースカフェ・インザループ(札幌市北区北14条西3丁目ル・ソレイユ1階)



事例発表者、参加者大募集！！（開催当日の様子はウェブサイト上からご覧いただけます）

詳しくはこちらまで

作成:北海道GPN事務局(担当 大内)

〒060-0002 北海道札幌市中央区北2条西14丁目2-3

連絡先:TEL 011-222-0234 FAX 011-222-0235

E mail : staff@hokkaido-gpn.org

URL : <http://www.hokkaido-gpn.org/>